

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
総合看護技術	4年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	野上 聡子 ※
授 業 概 要					
各看護学で学んだ知識と技術を統合しながら、臨床実践を想定した課題の達成を目指す。その課題達成をチームで協力し合いながら目指すプロセスを通し、チーム・コンピテンシーを促進させるために必要な個人の能力について学び、自己の課題を明らかにする。					
到 達 目 標					
1. チームで協力し合い課題達成に取り組む 2. 課題達成状況と課題達成までのプロセスを評価し、チームリーダーおよびメンバーのあり方を考える 3. 受け持ち看護師役は知識・技術を場面に適用し、看護ケアを計画し提供する。全過程を通して自己の行動特性について振り返る					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. チーム・コンピテンシーと課題達成 1) チーム・コンピテンシーとは 2) チームで協力して働く個人の能力				野上 聡子 ※
3-4	2. 医療用機器の原理と実際 1) ME機器を使用するための基礎知識 (1) 電気について (2) 医療用ガスについて 2) ME機器取り扱い上の留意事項 3) ME機器使用時の看護 心電図モニター、人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプなど 起こりやすい事故と対応				南雲 陽子 ※
5-15	3. 事例演習 1) 対象理解・看護計画立案 (1) 提示された事例に対し看護ケアを提供する上で、理解すべき内容をチームで検討する (2) 理解すべき内容をチームメンバーで分担し、各自が自己の役割を果たすために行動する（調べる 等） (3) 知識・技術を場面に適応し、看護ケアを計画し提供する (4) 計画を実施する。多重課題・時間切迫の状況下で、優先順位の決定・自己の力量の判断を行い対処する (5) 実施結果を振り返り、状況に応じた適切な行動について考える (6) 一連の課題達成に向けた活動を振り返り、チームの力が発揮されたか、グループで振り返る (7) 各自が自己の行動特性を振り返る				野上 聡子 ※ 他
学 習 方 法					
講義 演習（シミュレーション） グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 演習参加 レポート 詳細については授業初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メジカルフレンド社 写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス 編著 吉田みつ子 本庄恵子 インターメディカ					
〔参考書〕 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院 医療安全ワークブック 川村治子 医学書院 医療におけるヒューマンエラー なぜ間違える どう防ぐ 河野龍太郎 医学書院					